

# 第17期 報告書

(平成28年7月1日から平成29年6月30日まで)

特定非営利活動法人りすシステム

## I. 第17期事業報告書

特定非営利活動法人りすシステムは、生前契約に関する啓蒙普及事業、死後事務契約の受託事業、生前事務契約の受託事業、成年後見制度における後見人の受託事業、地球に恩返し運動事業および利用者支援事業を中心として活動をしておりますが、定款に記載した事業別（12 に区分できます）について当期の活動状況を説明しますと以下の通りです。

### 1. 生前契約に関する啓蒙普及事業

#### イ) 定期説明会の実施

各支部で毎月1回実施し、説明会参加者数は1,358人でした。その結果、新規利用申込者は384人でした。

#### ロ) 講演実施およびテレビ・新聞・雑誌等での紹介

講演：東京：平成29年2月  
千葉：平成28年7・8月  
大阪：平成29年3月

テレビ：讀賣テレビ：平成28年10月

新聞：大分合同新聞1回、宗教新聞1回、

雑誌：週刊朝日「成年後見制度の落とし穴・認知症喰いの手口」、月刊ケアマネジメント「身元保証サービスにご用心」、web マガジン ヨクラス「りすシステムの紹介」、INNERVISION「終活とA iー死因究明は究極の終活」

### 2. 死後事務契約（祭祀主宰を含む）の受託事業

#### イ) 死後事務契約受託

各支部で通年実施し、死後事務契約者数は385人でした。

#### ロ) 死後事務の履行

死後事務を全て終えるまで履行した人数は106人でした。死後事務を葬儀・家の片付け・その他各種手続別に履行した件数は455件でした。

### 3. 生前事務契約（療養看護、身上監護、財産管理等生活支援）の受託事業

#### イ) 生前事務契約受託

各支部で通年実施し、生前事務契約者数は338人でした。

#### ロ) 生前事務の履行

各支部で通年実施し、生前事務を履行した件数は2,840件、および入院・入居・旅行・就職等に係る保証をした件数は558件でした。

### 4. 任意後見契約の受託並びに成年後見人等の受託事業

イ) 後見事務契約受託

各支部で通年実施し、任意後見契約者数は 338 人でした。

ロ) 後見事務の履行

東日本・北日本・中部日本・西日本・九州支部で通年実施し、後見事務を履行した件数は 272 件でした。

5. 生前契約に係る遺言に関する事業

遺言作成のサポート事務受託を各支部で通年実施し、遺言公正証書作成者数は 341 人、および遺言執行をした件数は 9 件でした。

6. 目的達成に必要な人材育成および出版に関する事業

イ) りすシステムスタッフの研修

元最高裁判事による「民法の基礎および実務研修」および杏林大学医学部教授による「人体の成り立ち」を 4 回実施し、延べ 151 人参加しました。

ロ) 書籍販売

各支部で通年実施しました。

7. 葬送環境科学研究所による地球にやさしい葬法の調査研究、開発、啓蒙普及事業

イ) 調査研究および開発

NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構と協力して「エコ人権葬」運動を推進しています。自分の葬儀に必要な二酸化炭素を植樹によって相殺することを目的にした「地球に恩返し基金運動」を実施しています。

ロ) ニュージーランド撒骨

撒骨を平成 29 年 3 月にニュージーランドで実施し、参加者は 12 人でした。

8. 地球に恩返し運動（森づくり等）に関する事業

大分県の功德院の周辺に土地を購入し、地球に恩返しの森づくり（薬用樹木の森を含む）を実施しています。今後に向けて道路等の整備を続けています。

9. 葬送 110 番の設置等葬送に関する相談および支援事業

葬送に関する電話相談事業を各支部で通年実施し、相談件数は 678 件でした。

10. 生活支援テレフォンの設置等生活支援に関する相談事業

日常生活で気になること等、暮らしの相談に関する電話相談事業を各支部で通年実施し、相談件数は 508 件でした。

11. 生前契約利用者に対する支援事業

イ) 会報誌「りす倶楽部」および「ARCO通信」発行

生前契約利用者を対象に本部で「りす倶楽部」は原則毎月 1 回発行し発行部数は年間 32,100 部、および「ARCO通信」は季刊で発行し発行部数は 34,000 部です。



ロ) りす倶楽部の懇親会等

生前契約利用者を対象に各支部で実施し、実施回数は 92 回で参加者数は 1,270 人でした。

ハ) 24 時間コールセンター事業

生前契約利用者を対象にりすセンターで通年実施し、コールセンター利用件数は年間 1,090 件でした。

ニ) りすセンター・新木場事業

りすセンター・新木場が生前契約利用者およびその他の一般の方を対象として平成 23 年 1 月にオープンして以降、

- ① 人が亡くなったときに遺体を預かる施設として、また、その親族が亡くなった方に相応しい弔いをどうしたらよいかを一息ついて相談できる施設として利用されています。420 人の方が来場され、利用されました。
- ② 平成 26 年 6 月に Ai システムが導入され医療事故調査のために遺体の Ai 撮影を実施する施設として利用されています。利用件数は 28 件でした。

なお、りすセンター・新木場の土地建物は特定非営利活動法人日本生前契約等決済機構から賃借していましたが、賃借料等を考慮のうえ今期購入しました。

ホ) 支部での各種支援事業

生前契約利用者の契約内容に係わる来所相談および電話相談を各支部で通年実施し、来所相談者数は 791 人及び電話相談件数は 7,275 件でした。

ヘ) 医療に関する相談事業

生前契約利用者を対象に保健師 O B のご協力を得て東日本・中部日本・西日本支部で通年実施し、多数の人の相談を受けています。

ト) その他の支援活動事業

- ① 生前契約利用者を対象にセコム株式会社と提携した安否確認サービス（セコムで見守り、緊急時に各支部（夜間は新木場）で対応する仕組）を通年実施し、現在までにおよそ 400 世帯の方が利用しています。
- ② 生前契約利用者を対象に株式会社りすネットの協力を得て、住み替えや不動産売却の相談を各支部で通年実施し、79 件の相談を受けました。

12. りすシステムと同じ目的を持つ特定非営利活動法人の設立、運営、支援に関する事業

地球に恩返し基金運動などの事業を実施するにあたり、「NPO 地球に恩返しの森づくり推進機構」および「NPO 草の根国際協力研修プログラム」の活動を支援しています。

## Ⅱ. 第 17 期収支計算書

上記のⅠ. 第 17 期事業報告書で記載した事業活動を実施しました結果、経常収支差額は 290,907 千円となりました。経常的な事業活動からの経常収入は 745,399 千円【会費・入会金収入 87,958 千円(生前契約利用会費等 54,520 千円、維持会費 33,438 千円)、事業収入 69,005 千円、寄付金収入 582,621 千円および雑収入 5,814 千円】であり経常支出は 454,491 千円【事業費 398,956 千円および管理費 55,535 千円】であった結果です。

また、この経常収支差額にその他資金収支差額△179,318 千円を加えた当期収支差額は 111,589 千円となり、前期繰越収支差額△86,897 千円を加えた次期繰越収支差額は 24,691 千円となりました。

なお、当期収支差額に正味財産増減額を加味した当期正味財産は 282,539 千円増加し、これに前期繰越正味財産 23,706 千円を加えた当期正味財産合計は 306,245 千円となりました。

### 第 17 期収支計算書（要旨）

自 平成 28 年 7 月 1 日 至 平成 29 年 6 月 30 日

(単位：千円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費・入会金収入	87,958	
(生前契約利用会費収入等)	(54,520)	
(維持会費収入)	(33,438)	
2 事業収入	69,005	
3 寄付金収入	582,621	
4 雑収入	5,814	
経常収入合計		745,399
II 経常支出の部		
1 事業費	398,956	
2 管理費	55,535	
経常支出合計		454,491
経常収支差額		290,907
III その他資金収入の部		287,901
IV その他資金支出の部		467,220
当期収支差額		111,589
前期繰越収支差額		△86,897
次期繰越収支差額		24,691



この第 17 期収支計算書（要旨）の経常収入と経常支出をⅠ．第 17 期事業報告書で記載した定款の事業別に記載しますと以下の通りです。

受託事業（定款事業の 2．死後事務受託、3．生前事務受託、4．後見事務受託および 5．遺言執行受託）の合計は収入が支出を上回っています。

受託事業以外の生前契約事業の啓蒙普及活動、地球に恩返し運動活動および利用者支援活動等から発生する支出に管理費を合計した経常支出を会費・入会金収入、寄付金等収入および雑収入で賄い、経常収支差額は大幅なプラスとなっています。寄付金収入が例年より多かったことが経常収支差額が大幅なプラスになった大きい要因です。

#### 第 17 期定款事業別経常収入、経常支出および経常収支差額の状況

（単位：千円）

定款事業	経常収入		経常支出		経常収支差額
	勘定科目	金額	勘定科目	金額	金額
1. 生前契約啓蒙普及	事業収入	4,746	事業費	88,444	
2. 死後事務受託	事業収入	25,274	事業費	9,467	
3. 生前事務受託	事業収入	23,619	事業費	20,072	
4. 後見事務受託	事業収入	5,446	事業費	6,969	
5. 遺言執行受託	事業収入	2,267	事業費	4,251	
6. 生涯教育・出版	事業収入	2,674	事業費	7,228	
7. 葬法調査研究		—	事業費	12,527	
8. 地球に恩返し運動	事業収入	195	事業費	47,829	
9. 葬送 110 番相談		—	事業費	3,265	
10. 生活支援相談		—	事業費	4,214	
11. 利用者支援	事業収入	4,779	事業費	188,214	
12. 他の NPO 法人支援		—	事業費	6,469	
	事業収入 計	69,005	事業費 計	398,956	
			管理費	55,535	
	合計	69,005	合計	454,491	
	会費・入会金収入	87,958			
	(利用会費収入等)	(54,520)			
	(維持会費収入)	(33,438)			
	寄付金収入	582,621			
	雑収入	5,814			
	経常収入合計	745,399	経常支出合計	454,491	290,907

### Ⅲ. 第 17 期貸借対照表

上記のⅠ. 第 17 期事業報告書で記載した事業を実施しました結果、第 17 期末の正味財産は第 16 期末に較べて 282,539 千円増加しました(この金額には、Ⅱ. 第 17 期収支計算書で記載した当期収支差額 111,589 千円を含んでいます)。なお、資産合計は 917,382 千円、負債合計は 611,136 千円、正味財産合計は 306,245 千円という状況です。

#### 第 17 期貸借対照表 (要旨)

平成 29 年 6 月 30 日現在

(単位：千円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	124,058		
商品 (納骨堂利用権)	16,140		
立替金	53,488		
その他	39,030		
流動資産合計		232,717	
2 固定資産			
土地	162,402		
死後・保全・遺言預り資産	342,997		
その他	179,265		
固定資産合計		684,665	
資産合計			917,382
II 負債の部			
1 流動負債			
活動負担金	115,000		
未払費用・未払金	9,419		
その他	67,616		
流動負債合計		192,035	
2 固定負債			
長期借入金	53,070		
死後・保全・遺言預り負債	342,997		
その他	23,033		
固定負債合計		419,100	
負債合計			611,136
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		23,706	
当期正味財産増加額		282,539	
正味財産合計			306,245
負債及び正味財産合計			917,382